

第50回
沖縄県畜産共進会が
開催されました

令和6年11月3日に第50回沖縄県畜産共進会が、南部家畜市場（糸満市）で開催され、沖縄県内から選抜された黒毛和種38頭の比較審査が行われました。外観から、発育や大きさ、品位などを審査した結果、特に優れた出品牛として、糸満市の前門真秀さんが育てた母牛と娘牛が農林水産大臣賞に選出されました。



農林水産大臣賞受賞牛

第50回の記念大会となる今回は、乳搾りやヤギの餌やり等の体験イベントも実施され、晴天のもと多くの親子連れで賑わいました。



ヤギの餌やり体験



審査風景

本会は、県内の優良な家畜を一堂に集め、その展示と評価を行うことで、家畜の改良増殖と飼養管理の改善を促し、畜産農家相互の研鑽と生産意欲の高揚を図ることを目的として、昭和49年から開催されている大會です。

お問い合わせ先
農林水産部 生産振興課畜産振興室
☎ 098-866-1653



パネルディスカッションの様子



ご登壇の皆様



フードドライブも実施しました！

沖縄総合事務局では、令和6年12月13日に食育イベント全国キャラバンの一環として、「沖縄子ども食堂セミナー～食育で考える子どもたちの未来！」を開催しました。第一部では、さくら教室（旧名護こども食堂）の神谷様から地域のボランティアと連携して、子どもたちが安心して過ごせる環境の整備や、子ども食堂の自走に向けた取組について、また、オリオンビール株式会社の儀間様から子ども食堂への様々な支援も含め、地域社会への貢献活動について、ご講演いただきました。

第二部では、お二人に加えて、子ども食堂の名付け親である一般社団法人ともしびatだんだんの近藤様

お問い合わせ先
農林水産部 食料産業課
☎ 098-866-1673

月13日に食育イベント全国キャラバンの一環として、「沖縄子ども食堂セミナー～食育で考える子どもたちの未来！」を開催しました。第一部では、さくら教室（旧名護こども食堂）の神谷様から地域のボランティアと連携して、子どもたちが安心して過ごせる環境の整備や、子ども食堂の自走に向けた取組について、また、オリオンビール株式会社の儀間様から子ども食堂への様々な支援も含め、地域社会への貢献活動について、ご講演いただきました。

また、会場で実施したフードドライブでは、お米や缶詰、レトルト食品やお菓子など、145点の食品が集まり、「NPO法人フードバンクセカンドハーベスト沖縄」を通して、支援を必要とされている方や施設等へ届けられます。

沖縄子ども食堂セミナー
～食育で考える子どもたちの未来！～

にご登壇いただき、那覇市社会福祉協議会の浦崎様をファシリテーターにお迎えして、今後の子ども食堂での食育体験の広がりなどについてディスカッションしていただきました。

また、会場で実施したフードドライブでは、お米や缶詰、レトルト食品やお菓子など、145点の食品が集まり、「NPO法人フードバンクセカンドハーベスト沖縄」を通して、支援を必要とされている方や施設等へ届けられます。